

# 食中毒の発生について

平成29年9月11日

記者発表資料

## [概要]

平成29年9月11日（月）午前10時30分頃、峡東保健所管内の医療機関から峡東保健所に、毒キノコによる食中毒患者3名を診察した旨の連絡が入った。

峡東保健所が調査を行ったところ、患者3名は、山で採取した野生のキノコを調理し、10日の午後8時頃に喫食し、同日午後9時頃に発症していることが判明した。

峡東保健所では、患者3名の共通食が当該キノコであること、症状が毒キノコによる食中毒の症状と一致すること及び患者を診察した医師から食中毒の届出が提出されたことから、当該キノコを原因とする食中毒と断定した。

- 1 発症日時 平成29年9月10日（日）午後9時頃
- 2 喫食者数 3名（女性2名、男性1名）
- 3 患者数 3名
- 4 主な症状 嘔気、嘔吐
- 5 原因食品 ツキヨタケ（毒）
- 6 病因物質 植物性自然毒
- 7 その他 患者は全員回復しています

（参考）山梨県の集団食中毒発生状況（本件を含む）

	発生件数	患者数	死亡者数	(問い合わせ先)
本年	8件	47名	0名	福祉保健部衛生薬務課 食品衛生・動物愛護担当 電話 055-223-1489（内線3457）
平成28年	11件	131名	0名	

## 毒キノコによる食中毒に注意しましょう

本県における食中毒の原因となる毒キノコは、食用のキノコと区別がつきにくいクサウラベニタケ、ツキヨタケ、カキシメジ、ドクヤマドリが多くを占めています。

毒キノコか食用キノコかを見分けるには、十分な知識と経験が必要となりますので、安易に野生のキノコを食べることは絶対にやめましょう。

発生年	発生件数	患者数	原因となったキノコ
H27	1	6	ツキヨタケ
H25	1	9	ツキヨタケ
H22	3	6	クサウラベニタケ、コウタケ
H21	2	7	ツキヨタケ（推定）、不明
H19	4	8	クサウラベニタケ、ツキヨタケ、ドクツルタケ（推定）、ウスキテングタケ

- 迷信を信じない
- 素人判断は絶対にしない
- **知らないきのこは採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！**

食用キノコに混じって毒キノコが生えていることがあります。

一本一本よく確認し、毒キノコによる食中毒を未然に防ぎましょう。

### ツキヨタケ

発生：夏～秋ブナなどの立ち枯れ木、切り株に  
重なって生える

かさ：10～15cmの中～大型。  
半円形で茶色から紫色を帯びる

柄：太くて短い

症状：おう吐、下痢、腹痛

（中毒例が最も多いきのこ）

☆食用のムキタケ、ヒラタケ、シイタケなどの立ち木に生えるきのここと間違えられる。

＜ツキヨタケの特徴＞

- ①きのこを縦に裂き、柄の部分に褐色のシミがあります。
- ②きのこの裏側（ヒダ面）の柄の付け根にリング状の隆起帯があります。  
これらの特徴が見られたら食べてはいけません。

